



尿蛋白陽性と言われたら

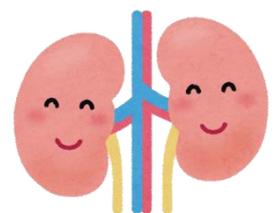
腎臓内科 卜部 麻子

健康診断で尿検査をしたとき、尿蛋白陽性という結果を経験したことがありますでしょうか。

蛋白尿は尿中に 150 mg/日以上 of 蛋白が漏れ出ている状態のことをいいます。尿蛋白が陽性になる疾患は、ネフローゼ症候群、慢性糸球体腎炎、高血圧や糖尿病による腎障害などがありますが、発熱や激しい運動、ストレスなどによってみられる一時的な蛋白尿である機能的蛋白尿や、立位の際にのみ蛋白が排泄される起立性蛋白尿(体位性蛋白尿)などのように、腎疾患が原因ではない蛋白尿もあります。

腎臓はたくさんの血管が集まっており、血液をろ過する働きをしています。その際に蛋白質は、ほぼろ過されず体内に保持されますが、ろ過するためのフィルターに何らかの異常が生じた場合、蛋白質が漏れ出てしまい、尿蛋白陽性となります。ここで注意すべきことは、実際にどのくらいの量が漏れ出ているかどうかです。

健康診断で行う尿検査は定性検査で、結果はマイナスやプラスで表現されています。これだけでは病的意義のある量が漏れ出ているかはわかりません。というのは、尿定性は濃度による評価のため、同じ量の尿蛋白でも濃い尿では数値が大きくなり、薄い尿では数値が小さくなります。定量検査により量を認識する必要があります。だからといって定性検査に意味がないということはなく、簡便に腎障害の有無を判別できる大切な検査です。重要なのは、尿蛋白陽性という結果を放っておかないことです。尿中蛋白量が大量であれば尿の泡立ちや足のむくみを自覚することがありますが、少量であればほとんど無症状です。そのため、放っておいてしまう気持ちもわかりますが、疾患によっては蛋白量によって腎予後に関係してしまいますので、尿蛋白陽性を認めた際には、腎臓内科への受診をしていただければと思います。





当院管理栄養士監修 家庭で出来る簡単レシピ

秋鮭のしモンマスタード焼き

◎材料(2人分)

秋鮭 60g 2切

酒 大さじ2

塩 少々

小麦粉 大さじ1/2

バター 適量

- A
- 粒マスタード 大さじ1/2(7g)
 - 濃口醤油 小さじ1(5g)
 - 上白糖 大さじ1/2(4.5g)
 - 広島レモン 1/2個 絞り汁小さじ1(5g)
 - *市販のレモン果汁でも可



◎栄養成分(1人分)

124kcal タンパク質 13.4g 塩分 0.9g

◎作り方

- ① 鮭に酒、塩を振り 10分程度おき、水気が出たらキッチンペーパーで拭いておきます。
- ② 熱したフライパンにバターを入れ、バターが溶けたら、小麦粉をまぶした鮭を入れて両面色よく焼きます。
★ポイント★ 鮭は皮目から焼くときれいに仕上がります
- ③ 焼けてきたら弱火にし、Aの調味料を入れ、煮からめます。
- ④ ソースが煮詰まるとろりとしてきたら完成です。

◎このレシピについて

レモンやマスタードを使うと、減塩でも美味しく食べられます。

鮭以外にも、鱈などの白身魚に代えても美味しいです。

広島はレモンの産地なので、新鮮なレモンが手軽に手に入ります。是非作ってみてください。

♪余ったレモンでもう1品♪ ホットレモン

レモンは2枚薄切りにしておきます。(最後に入れる)

残りのレモンをカップに搾り、ハチミツや砂糖を入れ、お湯を注ぎます。※好みの甘さに調整してください。

血糖値が気になる方は、甘味料を使用してもOK!!

最後に、スライスしたレモンの輪切りを加えて完成です。

★レモンに含まれるクエン酸はカルシウムや鉄分の吸収を助け、カリウムやビタミンCには美肌効果があります。抗酸化作用もあるので疲労回復効果にもおすすめです。





看護部紹介②

～東6階・東7階病棟～



9月号から7回（予定）にわたって、看護部紹介をお届けします！
第2回は、東6階・東7階病棟です。

東6階病棟

－病棟の特徴－

東6階病棟は、消化器内科病棟です。胃や大腸などの消化管だけでなく、肝臓・膵臓などの疾患に対し、検査や内視鏡治療、がん化学療法などを行います。
また、夜間救急病室1床を有し、様々な疾患の緊急入院を受け入れています。

－病棟の雰囲気－

消化器内科病棟では、急性期・慢性期・終末期と様々な時期の対応が求められますが、外来・内視鏡センター・IBD（炎症性腸疾患）チーム・緩和ケアチーム・NSTと協働して、忙しい中でもコミュニケーションよく患者さんに関わっています。

東7階病棟

－病棟の特徴－

東7階病棟は、腎臓内科、泌尿器科、代謝内科の混合病棟です。
泌尿器科においては、一般泌尿器科医療とがん治療が行われています。
急激な高齢化を背景に、あらゆる疾患の原因となりうる糖尿病の増加に伴い、糖尿病を基礎疾患とした腎不全患者も増加しています。東7階病棟ではあらゆる疾患の原因となりうる糖尿病の治療、コントロールを行うとともに、腎代替療法（血液透析・腹膜透析）を行っています。現在、呉市内での透析導入のほとんどを、当院の腎臓内科が担っています。治療を始めるにあたり、患者さんが安心して御自宅で療養できるよう、多職種で取り組んでいます。

－病棟の雰囲気－

明るく前向きなスタッフが多く、人間関係が良好な病棟です。
年齢を問わず、意見を交換できる雰囲気があります。医師、薬剤師、リハビリスタッフ、MSW等の多職種と連携し、患者さん中心の看護を行うため、日々努力をしています。



※次回は『東8階・東9階病棟』についてお届けします。

【がん教育】 呉工業高等学校を訪問しました

広島県教育委員会より、学校におけるがん教育の講演の依頼を受け、9月22日(木)に当院胸部外科部長 杉本 龍士郎 先生が広島県立呉工業高等学校を訪問いたしました。

1・2年生120名の生徒に対し、「みんなに知ってほしいがんのこと」と題し、がんという病気、日本のがんの現状、がんの発生と進行、がんの予防、検診の意味、がんの治療で大切なこと、がん治療の支援の重要性について、実際の内視鏡の手術の様子などを交え、50分間授業を行いました。

生徒の皆さん、熱心に講演を聞いてくださいました。

【授業の様子】



—病院の理念—

高度・良質の医療
最善の奉仕
研鑽と協調
地域医療の支援

—病院の基本方針—

- 一 良質で適切な医療の提供に努めます
- 二 患者さんの権利を尊重し、患者さんの満足・安心・信頼を追求します
- 三 新しい知識と技術を積極的に習得し、常に質の高い先進的医療を行います
- 四 地域の中核病院として、地域社会の要請に応える医療を提供します
- 五 職員が意欲を持って働ける病院をめざします
- 六 次代を担う有能な医療従事者の育成をめざします
- 七 専門的ながん医療の提供に努めます
- 八 国内での医療救護活動に積極的に参加します

—患者さんの権利—

- 一 個人の尊厳は尊重されます
- 二 平等な医療を受ける権利を有します
- 三 最善の医療を受ける権利を有します
- 四 自己の病状や治療等について知る権利を有します
- 五 自己の診療については、検査・治療の内容等について十分な説明を受け理解し、自己決定をする権利を有します
- 六 診断や治療に関して他の医師や医療機関の意見を求めることができ、その上で診療の撤回ができます
- 七 臨床試験や治験等への参加については、その内容、予想される危険性、従来の治療方法との違い等について十分な説明を受け、自己決定をすることができます
- 八 プライバシーの権利を有します